

随意契約結果書

物品等の名称 及び数量	道路管理の高度化・効率化に資する4次元インフラマネジメント手法の開発
契約担当官等の 氏名並びにその 所属する部局の 名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 近畿地方整備局 近畿技術事務所長 達家 養浩 大阪府枚方市山田池北町11-1
契約締結日	令和 3年 7月27日
契約の相手方の 氏名及び住所	国立大学法人大阪大学 大阪府吹田市山田丘1番1号
契約金額 (消費税及び地 方消費税含む)	¥5,250,000-
予定価格 (消費税及び地 方消費税含む)	¥5,250,000-
随意契約による こととした理由	別紙のとおり
備 考	

特例政令等の該当	
非該当	CPC番号 該当なし

随意契約理由書

1. 業務名

道路管理の高度化・効率化に資する4次元インフラマネジメント手法の開発

2. 業者名

国立大学法人 大阪大学

3. 契約理由

本業務は、3次元モデルとその履歴データに基づく4次元インフラマネジメントシステムを構築し、インフラ管理の高度化・効率化を達成する事を目的とし、道路ネットワークとしての連続性を考慮したリスク分析のための方法論を開発するものである。

また本業務は、第三者機関である「新都市社会技術融合創造研究会」が産・学・官の連携・協力を図るべく、大学等を対象に道路に関する研究テーマを公募し、上記法人に所属する研究者が応募したものである。本業務は、公募課題「道路管理における3次元データの利活用による道路管理の高度化・効率化に関する研究」に対して提案され、同研究会において審査した結果、課題解決性、新規性・将来性、実現可能性が優れていたため、研究テーマとして令和2年6月に特定され、令和4年度までの研究が承認されている。

以上のことから、当該研究テーマを提案した上記法人と契約を行うものである。

4. 適用法令

会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号

推薦者 官 職 近畿技術事務所
品質調査課長
氏 名 山崎 裕治